

令和5年5月16日

理事長 殿

令和4年度 特定課題研究費研究報告書

研究代表者	所属	ものづくり工学科	職	准教授	氏名	福永堅吾
研究分担者	所属		職		氏名	
	所属		職		氏名	
	所属		職		氏名	
研究課題名	(和文) 高専生の英文ライティングに対するフィードバック等の指導効果の研究					
	(英文) A study on the effectiveness of the feedback to English writing					
研究種目	特定課題研究					
研究実績の概要						
<p>本研究では、本学本科生1年生および5年生において、英文作成において必要なスキル向上のための指導について検討した。1年生においては中学レベルの学習内容の再定着の目的も込めて、日本語の意味にあう語順に英単語・熟語を並べ替える語句整序に取り組みせ、英語の「語順」に慣れさせるという指導をして、授業で取り組ませた課題については、授業中に文法的エラーのある箇所を指摘し、例文を提示して文法構造を解説するなどを繰り返してフィードバックを与えた。</p> <p>5年生においては、高専入学後に学習し、高学年で扱う文法の復習と、今後、学生が研究発表等で執筆が必要となるアブストラクト等の英語にも対応できる文法力の向上を目的として、語句整序問題に取り組みせ、添削の際にエラー箇所を指摘し、修正させる指導を繰り返したが、低学年に比して授業時数が少ないことを計画時に誤算し、十分な指導を施すことができず、1年生での指導に重点をおくことに、年度途中で計画を変更した。とはいえ、学生からは通年で組み合わせたという声も聞かれ、有益な教育実践を行うことができたように考える。</p> <p>本研究にかんする論考は、令和5年度中にまとめる予定である。なお、令和4年度の成果として、研究期間内に取得した研究費にて購入した多くの良質な研究書を参照しつつ、以下の査読つき論文を公表することができた。</p>						
研究発表（論文、著書、講演等）						
<p>◆論文1件 福永堅吾「高等専門学校を選択科目「課題研究」における教育実践について」『授業学ジャーナル』第3号、大学英語教育学会 授業学研究会、2023年、pp. 117-134（査読あり）</p>						
その他（教育活動・OPCへの貢献、特許等）						
出前授業「ドイツ語おためしレッスンードイツ文化をのぞいてみよう！」（2022年11月25日、世田谷区立松沢中学校）						